

区分変更の例

非該当 → 区分1

(事例)

○60歳 男性 統合失調症
○2軸評価 精神症状3点、能力障害3点

	プロセス I	プロセス II	2次判定
判定結果:	非該当	非該当	区分1
障害程度区分基準時間:	23.8分		

食事	排せつ	移動	清潔保持	間接	行動	機能訓練	医療関連
0.7分	0.5分	1.0分	4.2分	7.3分	0.4分	3.2分	6.5分

判定調査項目

A項目群		調査結果
麻痺拘縮		
1-1	麻痺(左-上肢)	
	麻痺(右-上肢)	
	麻痺(左-下肢)	
	麻痺(右-下肢)	
	麻痺(その他)	
1-2	拘縮(肩関節)	
	拘縮(肘関節)	
	拘縮(股関節)	
	拘縮(膝関節)	
	拘縮(足関節)	
移動		
2-1	寝返り	
2-2	起き上がり	
2-3	座位保持	
2-4	両足での立位	
2-5	歩行	
2-6	移乗	
2-7	移動	
複雑動作		
3-1	立ち上がり	
3-2	片足での立位	
3-3	洗身	
特別介護		
4-1ア.	じょくそう	
4-1イ.	皮膚疾患	
4-2	えん下	
4-3	食事摂取	
4-4	飲水	
4-5	排尿	
4-6	排便	
身の回り		
5-1ア.	口腔清潔	一部介助
5-1イ.	洗顔	一部介助
5-1ウ.	整髪	一部介助
5-1エ.	つめ切り	
5-2ア.	上衣の着脱	
5-2イ.	ズボン等の着脱	
5-3	薬の内服	
5-4	金銭の管理	
5-5	電話の利用	
5-6	日常の意思決定	
意思疎通		
6-1	視力	
6-2	聴力	
6-3-1ア	意思の伝達	
6-4-1ア	指示への反応	
6-5ア.	毎日の日課を理解	
6-5イ.	生年月日をいう	
6-5ウ.	短期記憶	
6-5エ.	自分の名前をいう	
6-5オ.	今の季節を理解	
6-5カ.	場所の理解	

行動		調査結果
7 ア	被害的	
7 イ	作話	
7 ウ	幻視幻聴	
7 エ	感情が不安定	
7 オ	昼夜逆転	
7 カ	暴言暴行	
7 キ	同じ話をする	
7 ク	大声を出す	
7 ケ	介護に抵抗	
7 コ	常時の徘徊	
7 サ	落ち着きなし	
7 シ	外出して戻れない	
7 ス	1人で出たがる	
7 セ	収集癖	
7 ソ	火の不始末	
7 タ	物や衣類を壊す	
7 チ	不潔行為	
7 ツ	異食行動	
7 テ	ひどい物忘れ	
特別な医療		
8-1	点滴の管理	
8-2	中心静脈栄養	
8-3	透析	
8-4	ストマの処置	
8-5	酸素療法	
8-6	レスピレーター	
8-7	気管切開の処置	
8-8	疼痛の看護	
8-9	経管栄養	
8-10	モニター測定	
8-11	じょくそうの処置	
8-12	カテーテル	

B1項目群		調査結果
9-1	調理	見守り、一部介助
9-2	食事の配下膳	
9-3	掃除	
9-4	洗濯	
9-5	入浴の準備片付け	
9-6	買い物	見守り、一部介助
9-7	交通手段の利用	

B2項目群		調査結果
7 ト	こだわり	
7 ナ	多動・行動停止	
7 ニ	不安定な行動	
7 ヌ	自ら叩く等の行為	
7 ネ	他を叩く等の行為	
7 ノ	興味等による行動	
7 ハ	通常と違う声	
7 ヒ	突発的行動	
7 ホ	反復的行動	

C項目群		調査結果
6-3-1イ	独自の意思伝達	
6-4-1イ	説明の理解	
7 フ	過食、反すう等	
7 ヘ	憂鬱で悲観的	ときどきある
7 マ	対人面の不安緊張	
7 ミ	意欲が乏しい	
7 ム	話がまとまらない	
7 メ	集中力が続かない	
7 モ	自己の過大評価	
7 ヤ	疑い深く拒否的	
9-8	文字の視覚的認識	

3 中間評価項目得点表

麻痺拘縮	移動	複雑動作	特別介護	身の回り	意思疎通	行動
100.0	100.0	99.9	100.0	86.5	100.0	100.0

区分変更の例

区分3 → 区分4

(事例)

○20歳 女性 最重度知的障害
 ○身長145cm、体重78kgと肥満である。
 ○昨年までてんかん発作があったが、現在は服薬で治まっている。

プロセスⅠ	プロセスⅡ	2次判定
判定結果:	区分3	区分3
障害程度区分基準時間:	60.9分	区分4

食事	排せつ	移動	清潔保持	間接	行動	機能訓練	医療関連
4.3分	10.5分	13.8分	17.1分	4.0分	5.7分	2.2分	3.3分

判定調査項目

A項目群		調査結果		行動		調査結果	
麻痺拘縮				7 ア 被害的			
1-1	麻痺(左-上肢)			7 イ	作話		
	麻痺(右-上肢)			7 ウ	幻視幻聴		
	麻痺(左-下肢)			7 エ	感情が不安定		
	麻痺(右-下肢)			7 オ	昼夜逆転		
	麻痺(その他)			7 カ	暴言暴行		ある
1-2	拘縮(肩関節)			7 キ	同じ話をする		ある
	拘縮(肘関節)			7 ク	大声を出す		ときどきある
	拘縮(股関節)			7 ケ	介護に抵抗		ある
	拘縮(膝関節)			7 コ	常時の徘徊		ある
	拘縮(足関節)			7 サ	落ち着きなし		
	拘縮(その他)			7 シ	外出して戻れない		ある
移動				7 ス 1人で出たがる			
2-1	寝返り			7 セ	収集癖		
2-2	起き上がり			7 ソ	火の不始末		
2-3	座位保持			7 タ	物や衣類を壊す		
2-4	両足での立位			7 チ	不潔行為		
2-5	歩行			7 ツ	異食行動		ときどきある
2-6	移乗			7 テ	ひどい物忘れ		
2-7	移動			特別な医療			
複雑動作				8-1	点滴の管理		
3-1	立ち上がり			8-2	中心静脈栄養		
3-2	片足での立位			8-3	透析		
3-3	洗身		全介助	8-4	stomach の処置		
特別介護				8-5	酸素療法		
4-1ア	じょくそう			8-6	レスピレーター		
4-1イ	皮膚疾患		ある	8-7	気管切開の処置		
4-2	えん下			8-8	疼痛の看護		
4-3	食事摂取		見守り等	8-9	経管栄養		
4-4	飲水		見守り等	8-10	モニター測定		
4-5	排尿		見守り等	8-11	じょくそうの処置		
4-6	排便		一部介助	8-12	カテーテル		
身の回り				B1項目群			
5-1ア	口腔清潔		全介助	9-1	調理		全介助
5-1イ	洗顔		全介助	9-2	食事の配下膳		全介助
5-1ウ	整髪		全介助	9-3	掃除		全介助
5-1エ	つめ切り		全介助	9-4	洗濯		全介助
5-2ア	上衣の着脱		一部介助	9-5	入浴の準備片付け		全介助
5-2イ	ズボン等の着脱		一部介助	9-6	買い物		全介助
5-3	薬の内服		一部介助	9-7	交通手段の利用		全介助
5-4	金銭の管理		全介助	B2項目群			
5-5	電話の利用		全介助	7 ト	こだわり		
5-6	日常の意思決定		できない	7 ナ	多動・行動停止		ほぼ毎日
意思疎通				7 ニ	不安定な行動		希にある
6-1	視力			7 ヌ	自ら叩く等の行為		ほぼ毎日
6-2	聴力			7 ネ	他を叩く等の行為		
6-3ア	意思の伝達		ほとんど不可	7 ノ	興味等による行動		希にある
6-4ア	指示への反応		ときどき通じる	7 ハ	通常と違う声		希にある
6-5ア	毎日の日課を理解		できない	7 ヒ	突発的行動		
6-5イ	生年月日をいう		できない	7 ホ	反復的行動		
6-5ウ	短期記憶		できない	C項目群			
6-5エ	自分の名前をいう		できない	6-3-1	独自の意思伝達		ときどきできる
6-5オ	今の季節を理解		できない	6-4-1	説明の理解		ときどきできる
6-5カ	場所の理解		できない	7 フ	過食、反すう等		希にある
3 中間評価項目得点表				7 ヘ	憂鬱で悲観的		
麻痺拘縮	移動	複雑動作	特別介護	7 マ	対人面の不安緊張		
100.0	100.0	77.0	58.4	7 ミ	意欲が乏しい		
				7 ム	話がまとまらない		
				7 メ	集中力が続かない		ある
				7 モ	自己の過大評価		
				7 ヤ	疑い深く拒否的		
				9-8	文字の視覚的認識		

3 中間評価項目得点表

麻痺拘縮	移動	複雑動作	特別介護	身の回り	意思疎通	行動
100.0	100.0	77.0	58.4	13.3	36.9	70.5